

防火対象物使用開始届出書

年 月 日

日高広域消防事務組合
消 防 長 様

届 出 者

住 所

電話番号（ ）

氏 名

㊟

(法人にあつては、その名称、代表者名及び主たる事務所の所在地)

防 火 対象物	名 称				用 途			
	所在地				令別表第1	() 項		
防 火 管 理 者	職		氏 名		電 話			
総括防火管理者	職		氏 名		電 話			
公開・従業時間	A 24時間 B 時 分～ 時 分			管理権原	単一・複数			
敷地面積	㎡		建築面積	㎡		延べ面積	㎡ 棟数	
棟 名	棟 別 号	工事着工 年 月 日	使用開始 予定年月日	床面積増加状況 (㎡)				
				昭和36年4月 1日における 床 面 積	昭和36年4月 1日以後に増 加した床面積	今回増築した 床 面 積	床 面 積 の 合 計	
他の法令による 使用許認可				そ の 他 必 要 事 項				
建築確認番号	—	年 月 日	*消防同意番号	—	年 月 日			
※ 受付欄		※ 経過欄			※ 備考欄			

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

2 ※欄は、記入しないこと。

3 附近見取図、敷地配置図、立面図、各階平面図、仕上表その他必要な図書を添付すること。

4 同一敷地内に2以上の棟がある場合は、建築面積、延べ面積はそれぞれの合計を記入し、棟ごとに(2)「防火対象物棟別概要追加書類」に必要な事項を記入して添付すること。

5 他の法令による許認可とは、たとえば仮設許可及びその有効期間、営業許可、用途地域制限に関する許可等である。

別記様式第2号の2 (第6条関係)

第 号棟		防火対象物棟別概要追加書類									
令別表第1 () 項		地上 造			階建		延 べ 面 積		㎡		
用 途		構 造	主 要 構 造 部		耐火 : 準耐火(イ・ロ) : 不燃 : その他 ()						
取 容 員			延 焼 の お そ れ の ある 開 口 部		防火戸(1時間遮炎・20分間遮炎) : ドレンチャー : なし						
階 名		階		階		階		階		階	
主 要 用 途											
床 面 積 (㎡)											
(1) 消 火 器	種 別										
	個 数										
(2) そ の 他	種 別										
	個 数										
消 防 用 設 備 等 の 種 類		1 屋内消火栓設備		14 ガス漏れ火災報知設備		オ すべり棒		カ 避難橋			
		2 スプリンクラー設備		15 漏電火災警報器		キ 緩降機		ク 救助袋			
		3 水噴霧消火設備		16 消防機関へ通報する火災警報設備		23 非常コンセント設備		24 無線通信補助設備			
		4 泡消火設備		17 非常警報器具		25 パッケージ型消火設備		26 パッケージ型自動消火設備			
		5 ハロゲン化物消火設備		18 非常警報設備(ベル・サイレン・放送)		27 非常電源		ア 自家発電設備			
		6 不活性ガス消火設備		19 誘導灯		イ 避難ロープ		ウ 蓄電池設備			
		7 粉末消火設備		20 誘導標識		ウ 避難タラップ		エ すべり台			
		8 屋外消火栓設備		21 排煙設備							
		9 動力消防ポンプ設備		22 避難器具							
		10 連結送水管		ア 避難はしご(固定、つり下、立かけ)							
		11 連結散水設備		イ 避難ロープ							
		12 消防用水		ウ 避難タラップ							
		13 自動火災報知設備		エ すべり台							
特 殊 消 防 用 設 備 等 の 種 類											
火 気 使 用 設 備 ・ 少 量 危 険 物 等 の 種 類		1 炉		11 ヒートポンプ冷暖房機		21 少量危険物() < >		22 指定可燃物() < >		23 毒 物() < >	
		2 ふろがま		12 火花を生ずる設備		24 劇 物() < >		25 圧縮アセチレン()		26 L P G ()	
		3 温風暖房機		13 放電加工機		27 _____		28 _____			
		4 厨房設備		14 燃料電池発電設備							
		5 ボイラー		15 変電設備							
		6 固定式ストーブ		16 内燃機関による発電設備							
		7 乾燥設備		17 蓄電池設備							
		8 サウナ設備		18 ネオン管灯設備							
		9 給湯湯沸設備		19 舞台装置等の電気設備							
		10 簡易湯沸設備		20 避雷設備							
防 炎 物 品 の 使 用		無 : 有 (1 カーテン		4 展示用合板		7 じゅうたん等())	
				2 布製ブラインド		5 どん帳		8 _____			
				3 暗幕		6 人工芝		9 _____			
危 険 物 施 設 の 概 要		無 : 有		施 設 形 態		類		品 名		最大貯蔵取扱数量	
										指定数量倍数	
										倍	
そ の 他 必 要 事 項											

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
 2 「(2)その他」欄には、簡易消火用具又は大型消火器を設置しているものについて記入すること。
 3 「消防用設備等の種類」欄は設置しているものを○印で囲み、「特殊消防用設備等の種類」欄は設置しているものを記入すること。
 4 「火気使用設備・少量危険物等の種類」欄は設置し、又は貯蔵し、若しくは取り扱っているものを○印で囲み()内には数量を、< >内には品名等を記入すること。
 5 「防災物品の使用」欄は、防災防火対象物の当否にかかわらず、防災物品の使用の有無及びその種類を○印で囲むこと。
 6 「防災物品の使用」欄の7の()内には、じゅうたん、カーペット、だんつう等の種類を記入すること。